



宇治市 第六次 総合計画

一人ひとりが輝き
伝統と新たな息吹を
紡ぐまち・宇治

宇治市第六次総合計画

一人ひとりが輝き

伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治

宇治市



宇治市

宇治市 第六次 総合計画

一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治

2022(令和4)年3月

企画・編集：宇治市政策企画部政策戦略課

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL (0774) 22-3141 (代表)



一人ひとりが輝き
伝統と新たな息吹を紡ぐまちの実現へ

宇治市では、「まちづくりの最上位計画」として、これまで5次にわたり総合計画を策定し、市民の皆様とともに、住みたい、住んでよかったと思える「ふるさと宇治」を目指し、まちづくりを進めて参りました。

この間、宇治市を取り巻く社会情勢・環境は大きく変化しており、新型コロナウイルス感染症をはじめ、人口減少・少子高齢化の進行、地域コミュニティの希薄化、環境問題の深刻化や災害への対応など、市民の皆様の生活に影響を及ぼしています。また、一方では、デジタル技術の革新等による情報技術の高度化や、様々な制度の見直し、地方主権の推進など、状況は刻一刻と変化しています。

このような中、将来にわたる宇治市の発展をしっかりと見据え、誰ひとり取り残さない更なる宇治の発展のため、今回、令和4年度から令和15年度までの12年間のまちづくりの指針となる「宇治市第6次総合計画」を策定しました。

第6次総合計画では、これまで引き継がれてきた宇治の良さを継承しながら、先進的なことにも果敢にチャレンジすることにより、「新たなふるさと宇治」の創造に向けてまちづくりを進めることを目標に、新しい都市像である「一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治」を皆様とともに設定しました。今後は、目指す都市像の実現に向け、市民参画・市民協働によるまちづくりを、職員一同、全力を上げて進めて参ります。

最後になりますが、計画の策定にあたり多大なご尽力を賜りました、宇治市総合計画審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見を頂きました市民の皆様及び関係者の方々に對しまして、心よりお礼申し上げます。

2022（令和4）年3月

宇治市市長 松村 淳子

はじめに	p1	宇治市の紹介	p4
------	----	--------	----

序論 p5

第1章 計画策定にあたっての基本方針	6
1. 計画策定の趣旨	6
2. 計画の構成と計画期間	6
3. 計画の特徴	7
第2章 計画策定の基本認識	8
1. 宇治市の魅力	8
（1）地理的特徴	8
（2）歴史的背景	9
2. 宇治市を取り巻く社会情勢と環境	10
（1）人口減少・少子高齢化	10
（2）財政状況	14
（3）持続可能な社会の実現に向けた取組	15
（4）生活に対する脅威の増加	16
（5）情報通信技術の飛躍的な進歩	17
（6）広域交通ネットワークを活かした新たな価値の創出	18
（7）産業構造の変化と地域産業の振興	19
3. 市民のニーズ	23
（1）まちづくりの方向性に関する市民意見	23
（2）まちづくりの方向性・重点施策に関する市民意見	24
（3）まちづくりの具体的な取組に対する市民意見	27

基本構想 p29

第1章 基本構想の考え方	30
1. 目指す都市像	30
2. 目標年次・計画期間	32
3. 人口ビジョン	32
4. 将来都市構造	32
第2章 まちづくりの方向	34
第3章 まちづくりの土台	39

第1期中期計画 p41

第1章 第1期中期計画の考え方	42
1. 中期計画策定の趣旨	42
2. 中期計画の位置付け	42
3. 分野別施策の内容	43
4. 進行管理と政策評価の公表	43
第2章 第1期中期計画の構成	44
第3章 重点施策	46
第4章 まちづくりの土台となる取組	55

第5章 各分野の目標と目標達成に向けた取組	58
【まちづくりの方向1】安全・安心に住み続けられるまち	61
分野1 災害に強いまちづくりの推進	62
分野2 犯罪や事故が起こりにくい地域づくりの推進	66
分野3 消防・救急体制の充実	69
分野4 脱炭素社会へのチャレンジ	72
分野5 上下水道の基盤強化	75
【まちづくりの方向2】子育て・子育て支援が充実したまち	79
分野6 夢と希望を叶える子育て環境の充実	80
分野7 子どもの成長・発達への総合的な支援	84
分野8 確かな学力と豊かな人間性を育む学校教育	87
分野9 豊かな教育を推進するための学校環境整備	91
分野10 家庭・学校・地域の連携・協働促進	94
【まちづくりの方向3】誰もがいきいきと暮らせるまち	97
分野11 市民主体の地域づくりの推進	98
分野12 ともに支え合う地域共生社会の実現	102
分野13 健康づくりの推進と年金・医療保険制度の充実	105
分野14 生きがいの持てる健康長寿社会の実現	109
分野15 障害者が暮らしやすいまちづくりの推進	113
分野16 市民が学べる環境の充実	116
分野17 スポーツを通じたまちづくりの推進	120
分野18 人権教育・啓発の推進	123
分野19 男女共同参画の推進	126
分野20 国際交流の推進と平和への貢献	129
【まちづくりの方向4】地域経済が活発なまち	132
分野21 戦略的な産業振興	133
分野22 持続可能な農林水産業の振興	136
分野23 うるおいあふれる緑化の推進と公園の整備	140
分野24 誰もが移動しやすい交通環境の充実	143
分野25 誰もが暮らしやすい都市づくり	146
分野26 地域の活性化につながる道路の整備	150
【まちづくりの方向5】伝統と歴史が輝くまち	153
分野27 伝統ある宇治茶の継承・発展	154
分野28 文化芸術が香るまちづくりの推進	157
分野29 歴史・文化や景観を守り育てるまちづくりの推進	160
分野30 魅力ある地域資源を活かした観光振興	164

参考資料 p167

1 諮問書	168	5 宇治市総合計画 審議会運営規則	172
2 答申書	169	6 宇治市総合計画 審議会委員名簿	173
3 宇治市第6次総合計画 第1期中期計画の策定経過	170	7 成果指標一覧	174
4 宇治市総合計画審議会設置条例	171	8 用語解説	184



市章（昭和26年1月22日制定）
宇治の「宇」の字を図案化したものです。

市の宝木



ちゃの木
（昭和56年3月1日制定）

お茶が、わが宇治市の伝統産業として、ますます発展することを願って、「茶の木」を市の宝木としました。

市の木



イロハモミジ
（昭和56年3月1日制定）

数百年の樹齢を保つイロハモミジは、活力ある宇治市の将来を象徴するにふさわしい木です。

市の花



やまぶき
（昭和56年3月1日制定）

やまぶきは、年々黄金色の花を咲かせます。宇治市の福々しい繁栄を象徴するにふさわしい花といえます。

市の鳥



カワセミ
（平成2年3月1日制定）

清らかな河川を好むことから水質の示準鳥とされるこの鳥は、清流宇治川の象徴として宇治市にふさわしい鳥といえます。



うさぎ

本書を駆けぬけるうさぎは、宇治の地名の由来である「ウ（うさぎ）なる道＝諾道（ウナミチ）＝一番良い道」として登場します。このうさぎが道先案内人として宇治市のまちづくりを紹介します。

序論 基本構想 第1期 中期計画 参考資料

第1章	計画策定にあたっての基本方針	6
1.	計画策定の趣旨	6
2.	計画の構成と計画期間	6
3.	計画の特徴	7
第2章	計画策定の基本認識	8
1.	宇治市の魅力	8
2.	宇治市を取り巻く社会情勢と環境	10
3.	市民のニーズ	23



市章（昭和26年1月22日制定）
宇治の「宇」の字を図案化したものです。

市の宝木



ちゃの木
（昭和56年3月1日制定）

お茶が、わが宇治市の伝統産業として、ますます発展することを願って、「茶の木」を市の宝木としました。

市の木



イロハモミジ
（昭和56年3月1日制定）

数百年の樹齢を保つイロハモミジは、活力ある宇治市の将来を象徴するにふさわしい木です。

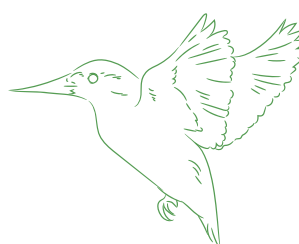
市の花



やまぶき
（昭和56年3月1日制定）

やまぶきは、年々黄金色の花を咲かせます。宇治市の福々しい繁栄を象徴するにふさわしい花といえます。

市の鳥



カワセミ
（平成2年3月1日制定）

清らかな河川を好むことから水質の示準鳥とされるこの鳥は、清流宇治川の象徴として宇治市にふさわしい鳥といえます。



うさぎ

本書を駆けぬけるうさぎは、宇治の地名の由来である「ウ（うさぎ）なる道＝諾道（ウナミチ）＝一番良い道」として登場します。このうさぎが道先案内人として宇治市のまちづくりを紹介します。

序論 基本構想 第1期 中期計画 参考資料

第1章	計画策定にあたっての基本方針	6
1.	計画策定の趣旨	6
2.	計画の構成と計画期間	6
3.	計画の特徴	7
第2章	計画策定の基本認識	8
1.	宇治市の魅力	8
2.	宇治市を取り巻く社会情勢と環境	10
3.	市民のニーズ	23

1. 計画策定の趣旨

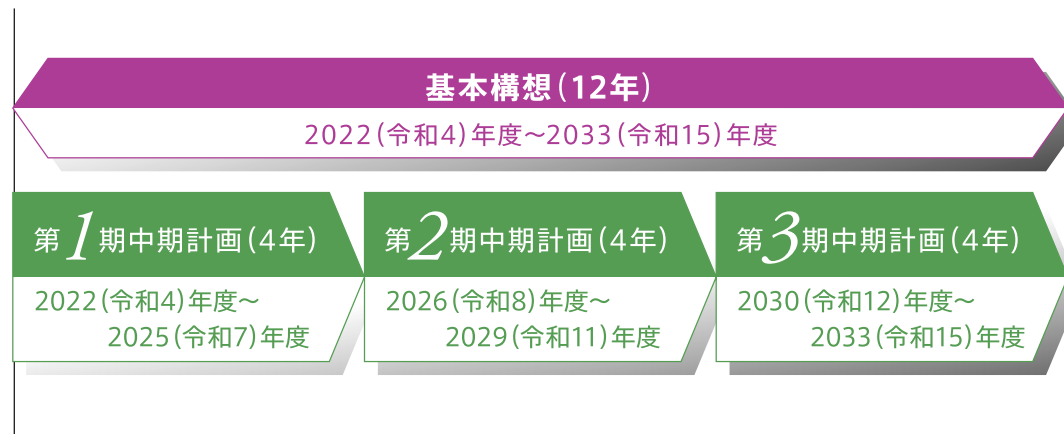
第6次総合計画は、「宇治市のまちづくりの最上位計画」であり、すべての市民や関係団体にとっても重要な意義を持つものです。人口減少や少子高齢化のさらなる進行への対応をはじめ、大規模化する自然災害やWITHコロナ・POSTコロナ時代の到来など、急速に変化する社会の中でも、市民一人ひとりが安全で安心して生活できるまちづくりを進めるため、市民や地域など、多様な主体の参画・協働によるまちづくりをより一層進めます。また、「宇治」の恵まれた自然・歴史遺産・伝統文化を次世代に継承し、発展させるとともに、先進的なことにも果敢にチャレンジすることにより、新しい宇治の魅力を創造していくことを目的に策定します。

2. 計画の構成と計画期間

第6次総合計画は、まちづくりの理念・目標や政策について、普遍的、基本的方向を定めた「基本構想」と、基本構想を実現するために基本施策を体系化して、目標や取組の方向を定めた「中期計画」で構成します。

基本構想については、計画期間を12年間とし、20年～30年後も視野に入れた長期的な展望に立ちつつ、宇治市の今後のまちづくりの基本的な方向性を定めた指針とします。

中期計画については計画期間を4年とし、急激かつ大きく変化する社会経済状況に柔軟に対応しやすい実現性の高い計画を目指します。



3. 計画の特徴

第6次総合計画の策定にあたり、以下の3つの考え方を盛り込むことで、市民と目標を共有し、目指す都市像の実現を着実に進めていきます。

① 新たな目指す都市像の設定

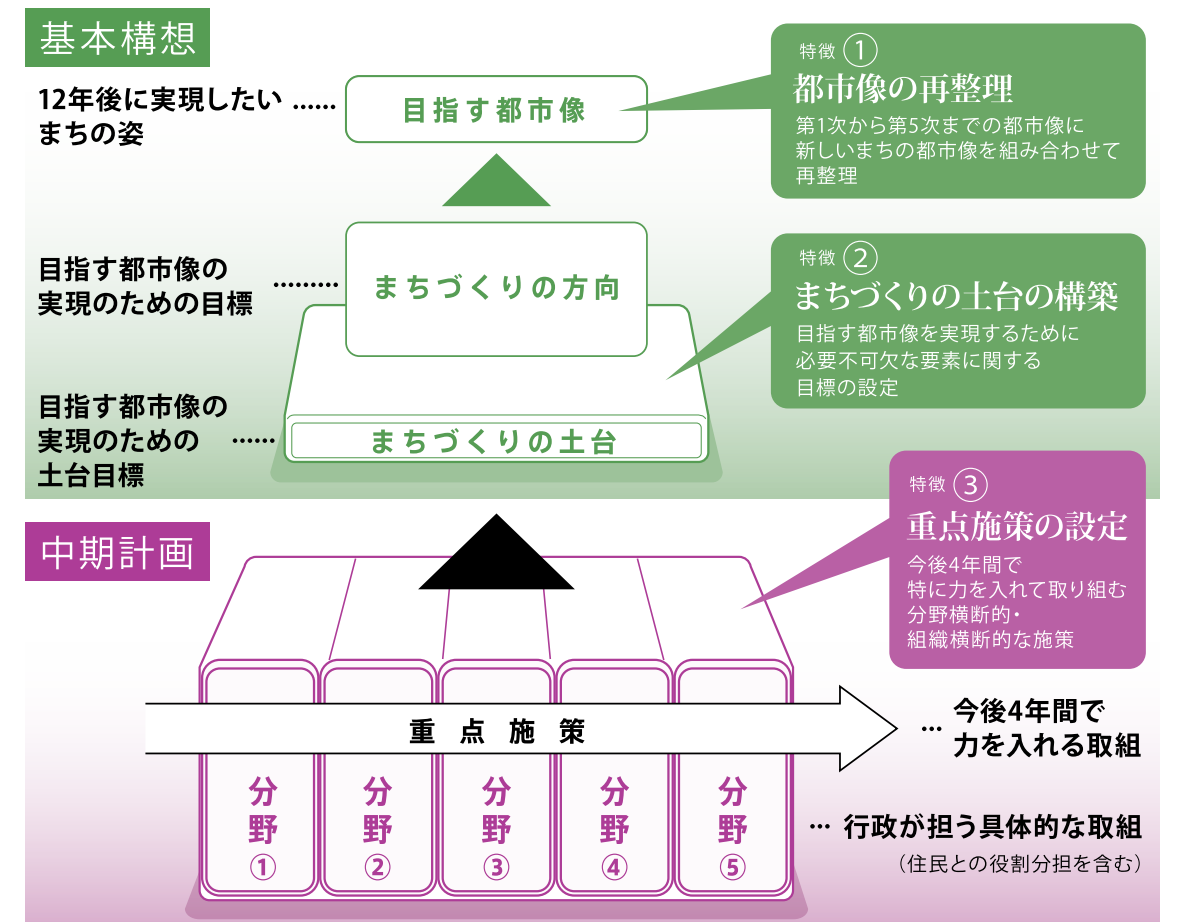
人口減少や少子高齢社会のさらなる進行、新型コロナウイルス感染症など急速に変化する社会状況等を踏まえ、これまで引き継がれてきた宇治の良さを継承しながら、新しいまちを市民と共に創るため、目指す都市像を新たに設定しています。

② まちづくりを進める上での土台の構築

第6次総合計画では、目指す都市像の実現に向けた様々な取組の基礎となる必要不可欠な取組を「まちづくりの土台」として位置付け設定しました。

③ 重点施策の絞り込み

中期計画では、計画期間中の4年間で、特に力を入れて実施していく、分野横断的・組織横断的な取組を重点施策として設定しています。



1. 宇治市の魅力

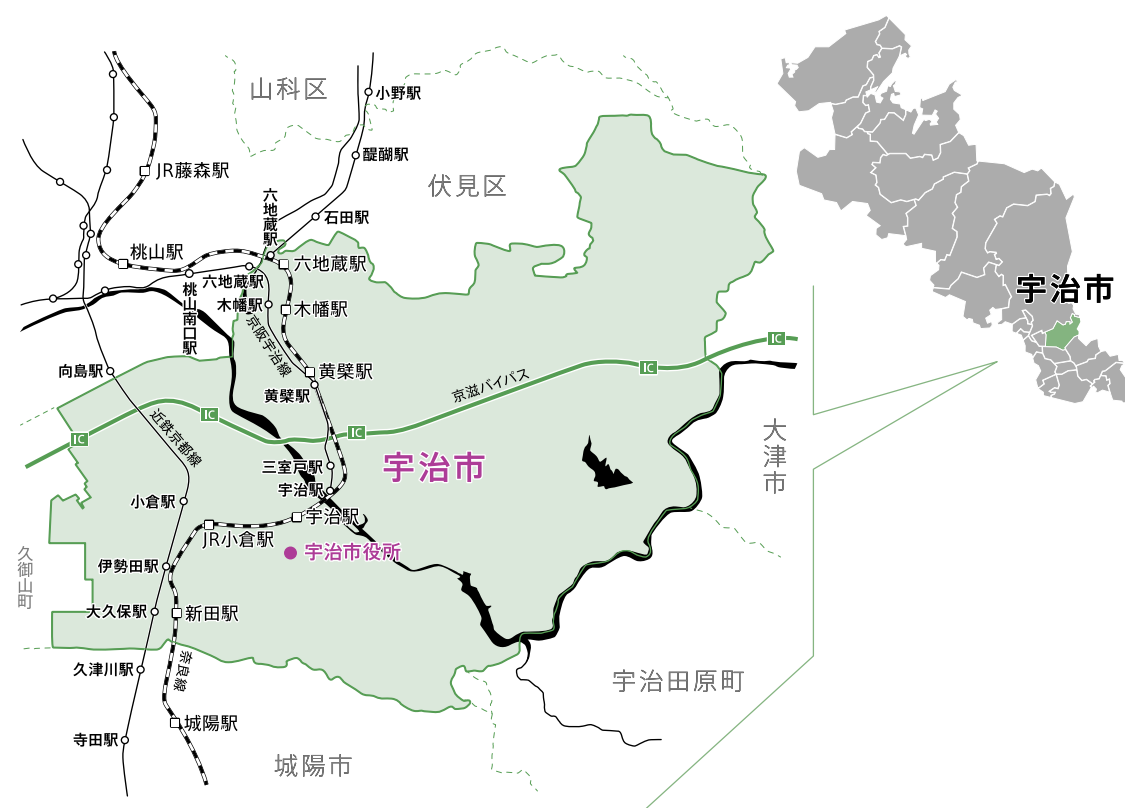
(1) 地理的特徴

宇治市は、京都盆地の東南部に位置し、京都市の南に隣接しており、面積は67.54km²、その広がり東西に10km、南北に10.7kmとなっています。

市内には、JR奈良線・近鉄京都線・京阪宇治線の3本の鉄道が通り、交通の便が良いことから京都・大阪の衛星都市として発展してきました。1960年代からの高度経済成長期には急激な人口増加が続き、それに対する道路をはじめとした都市基盤施設の整備が遅れたため、1990年代から都市基盤整備をまちづくりの優先的な課題として取り組んできました。

地理的には、東部に豊かな自然環境が残された山麓丘陵地が広がり、西部は巨椋池干拓田に連なる平坦地となっており、琵琶湖から唯一流れ出る河川である宇治川が市中央部を南北に縦断しています。市街地は、現在では京都市営地下鉄東西線も加え4本の鉄道が通っていると同時に14の鉄道駅が存在し、高度経済成長期の小規模な住宅地が多数あるなど、細分化されているのが宇治市の都市構造の特徴となっています。

また、宇治川を中心とした景観が国の重要文化的景観に選定されるなど、都市化が進んだ市街地に隣接して歴史的景観が残されており、これらの景観を保全、創造していくことが必要不可欠となっています。



(2) 歴史的背景

京都・奈良の中間に位置した宇治市は、646(大化2)年に宇治橋が架けられ、古代から交通の要衝として発展してきました。平安時代には、風光に恵まれていたこともあり、貴族の別業の地として栄え、源氏物語宇治十帖の舞台にもなっています。この頃、藤原頼通が建立した平等院や現存する最古の神社建築である宇治上神社は、世界遺産にも登録され、華麗な王朝文化を体現できる数少ない都市として、今日に至るまで、多くの観光客を迎えています。

また、古くから交通の要衝であったとともに、宇治川の先陣争いや槇島の合戦など激動する歴史の中でしばしば戦乱の場面に登場しています。安土桃山時代となり、天下を統一した豊臣秀吉が伏見城を築くとともに、氾濫を繰り返していた宇治川や淀川の大規模な土木工事を行いました。この時に築かれた堤防が、後に太閤堤と呼ばれています。

一方、宇治市は、室町時代以降、茶の産地として名声を馳せています。「宇治茶」は高級日本茶の代名詞とされ、茶業は現在も世界に誇れる伝統産業となっています。

明治時代に入ると、鉄道の敷設や電気事業が起こされ、近代化が図られました。市域の西側に位置する巨椋池の干拓事業は、1941(昭和16)年にほぼ現在の形ができ上がっています。そして、1951(昭和26)年3月1日、宇治市は当時の東宇治町・宇治町・槇島村・小倉村・大久保村の2町3村の合併によって、人口約3万8千人の市として誕生しました。

これまで培われてきた歴史と文化は、宇治市の象徴であり、市民にとって誇りとなるものです。それらを引き継ぎ、未来に継承していくことは、市民一人ひとりに課せられた大きな使命となっています。

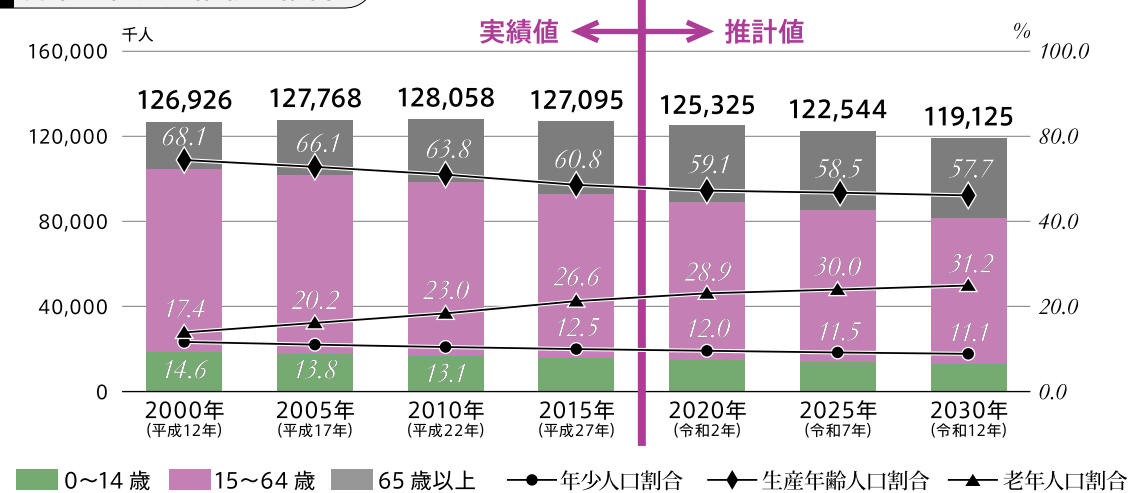


2. 宇治市を取り巻く社会情勢と環境

(1) 人口減少・少子高齢化

我が国では2008(平成20)年をピークに人口減少に転じ、人口減少が今後も進行することが推計されています。また、生産年齢人口(15～64歳)が減少している一方で、高齢者人口(65歳以上)の割合は増加しています。そのため、少子高齢化の進行する中で、まち・ひと・しごと創生総合戦略の方針に沿った取組の推進が求められています。

日本の総人口推移・推計



資料：総務省「国勢調査報告」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

1951(昭和26)年に人口約3万8千人で発足した宇治市は、今日では18万人の市民が暮らす京都府内第2の都市となっています。

人口増加率の推移を見ると、高度経済成長期の1960(昭和35)年～1965(昭和40)年には45.6%、1965(昭和40)年～1970(昭和45)年には50.1%の急激な増加をしていましたが、その後は徐々に鈍化し、2010(平成22)年～2015(平成27)年では1.7%の減少、2015(平成27)年～2020(令和2)年では2.4%の減少となり、これまでの人口増加傾向から、人口減少へと変化しています。

年齢構成では、2015(平成27)年と2020(令和2)年を比較すると、15歳未満の年少人口が13.5%から12.3%へ減少、15歳～64歳の生産年齢人口が60.0%から58.4%へ減少、65歳以上の高齢者人口が26.6%から29.4%へ増加しており、少子高齢化が進行していることがわかります。

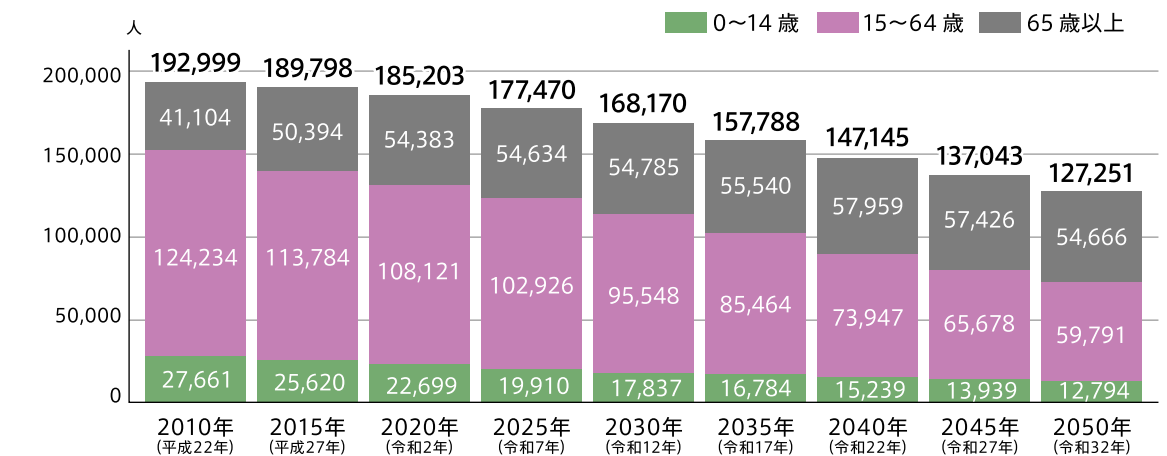
令和3年版高齢社会白書によると、我が国は、世界で最も高い高齢化率である

とされており、今後も65歳以上の高齢化率は上昇を続け、2065(令和47)年には、38.4%に達するとされています。

宇治市の2020(令和2)年の高齢者人口は54,383人であり、高齢化率は29.4%となっていますが、2050(令和32)年には43.0%に達すると見込まれ、急激に高齢化が進むことが予測されます。

また、平均寿命が延びる一方で、人口が減少していく中で高齢者が増加することにより、少子高齢化がますます進んでいくことが確実であり、これからのまちづくりはこうした状況を前提にしながら進めていく必要があります。

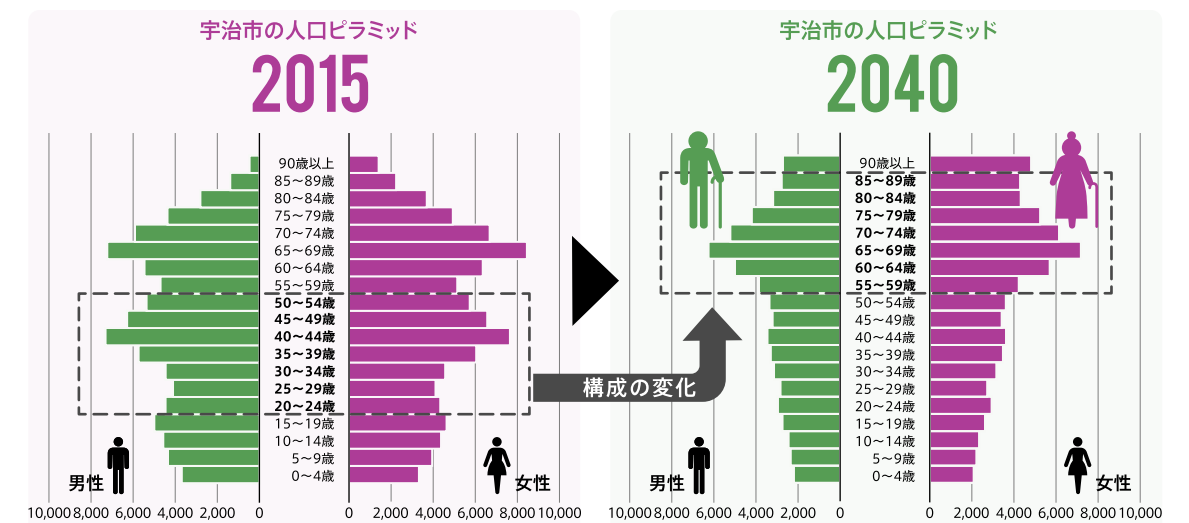
年齢3区分による人口推移と将来推計



資料：住民基本台帳

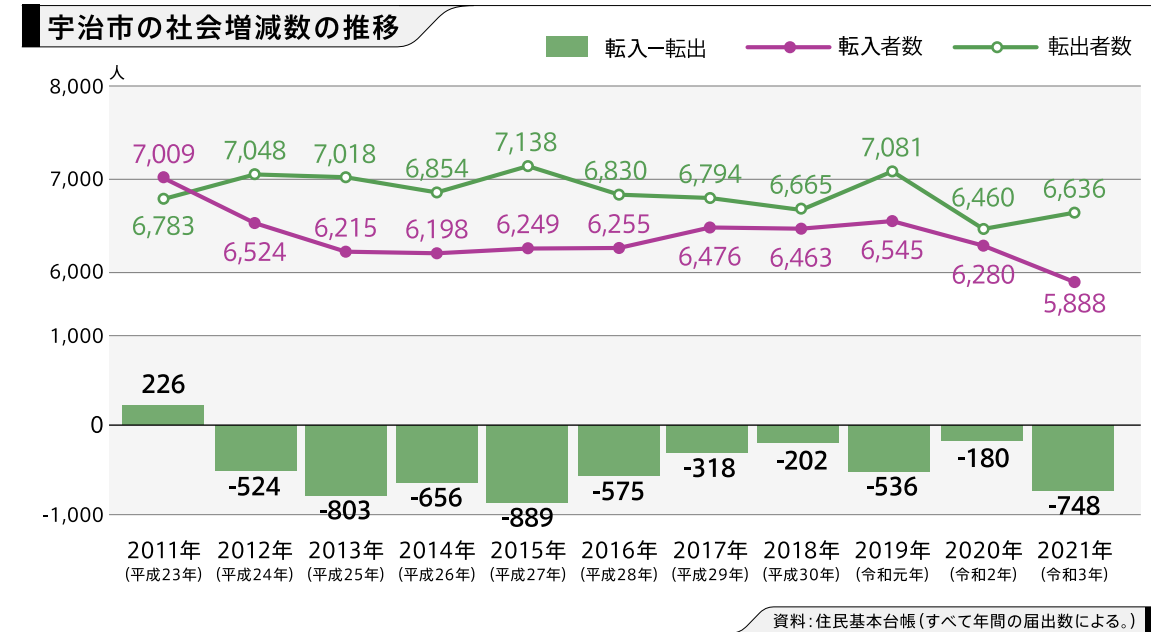
人口構造は、2040(令和22)年に団塊の世代及び団塊ジュニア世代が65歳以上になり、構成が変化します。

宇治市の人口構造の変化

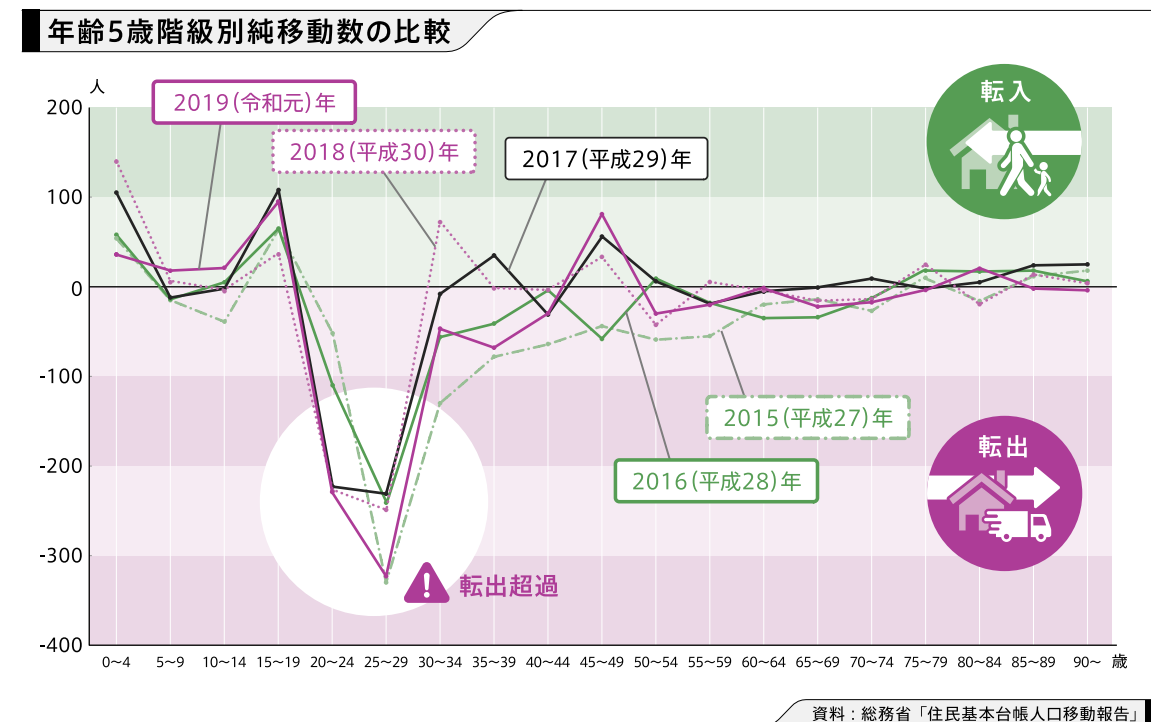


資料：総務省「国勢調査報告」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

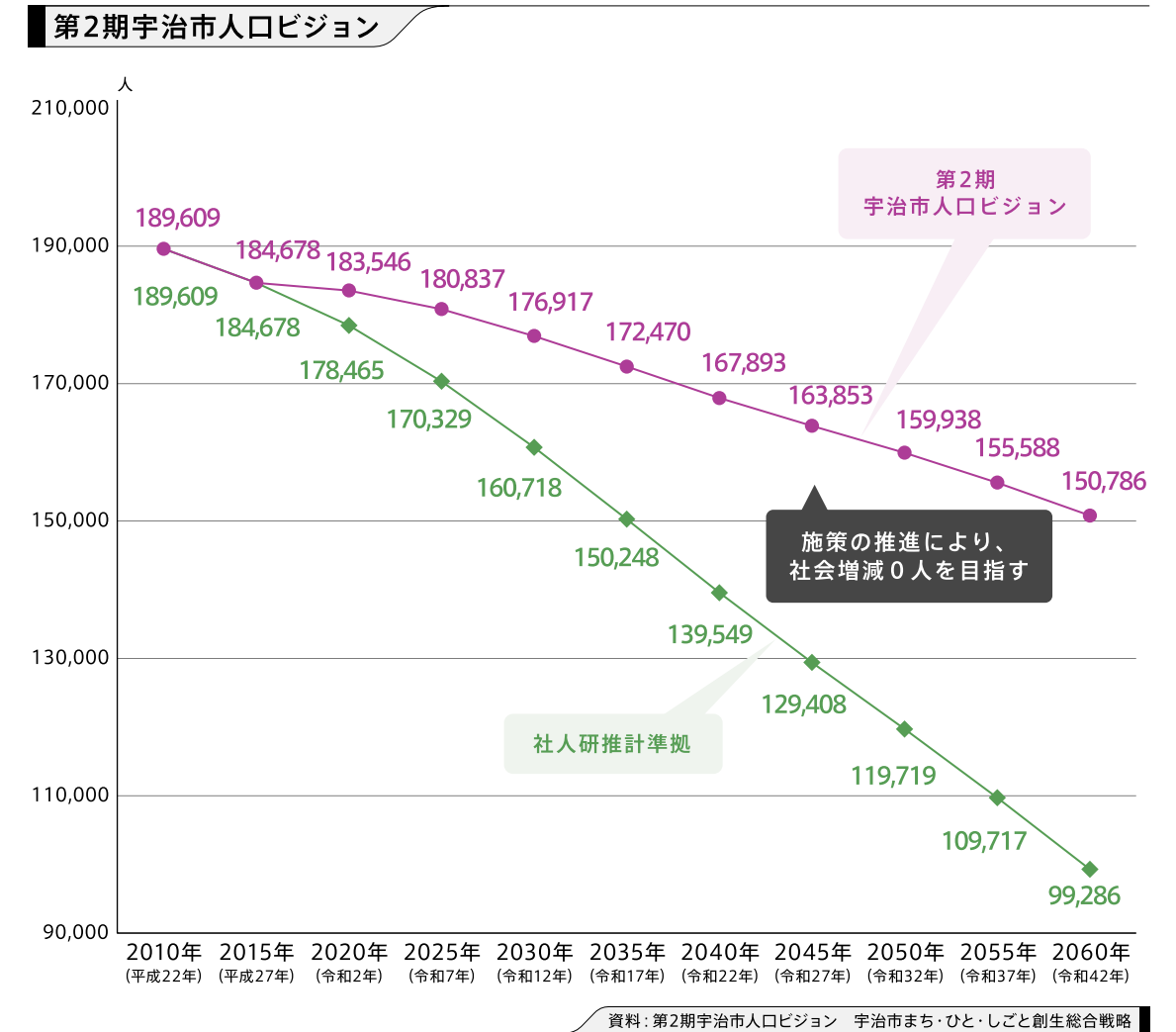
宇治市の社会増減は、転入超過、転出超過を繰り返しながら推移していましたが、2012(平成24)年以降、転出超過が続いています。



また、2015(平成27)年から2019(令和元)年までの年齢5歳ごとの社会増減の傾向を見ると、特に20歳代の転出超過が他の世代よりも多くなっていることから、20歳代や30歳代の若い世代をターゲットとした、効果的・効率的な施策を実施していく必要があります。



なお、宇治市では、2020(令和2)年以降、社会増減を0人とすることを目標に、第2期宇治市人口ビジョンを掲げ、人口減少、少子高齢化などの課題に対して、迅速かつ的確な対応と、宇治市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指しています。



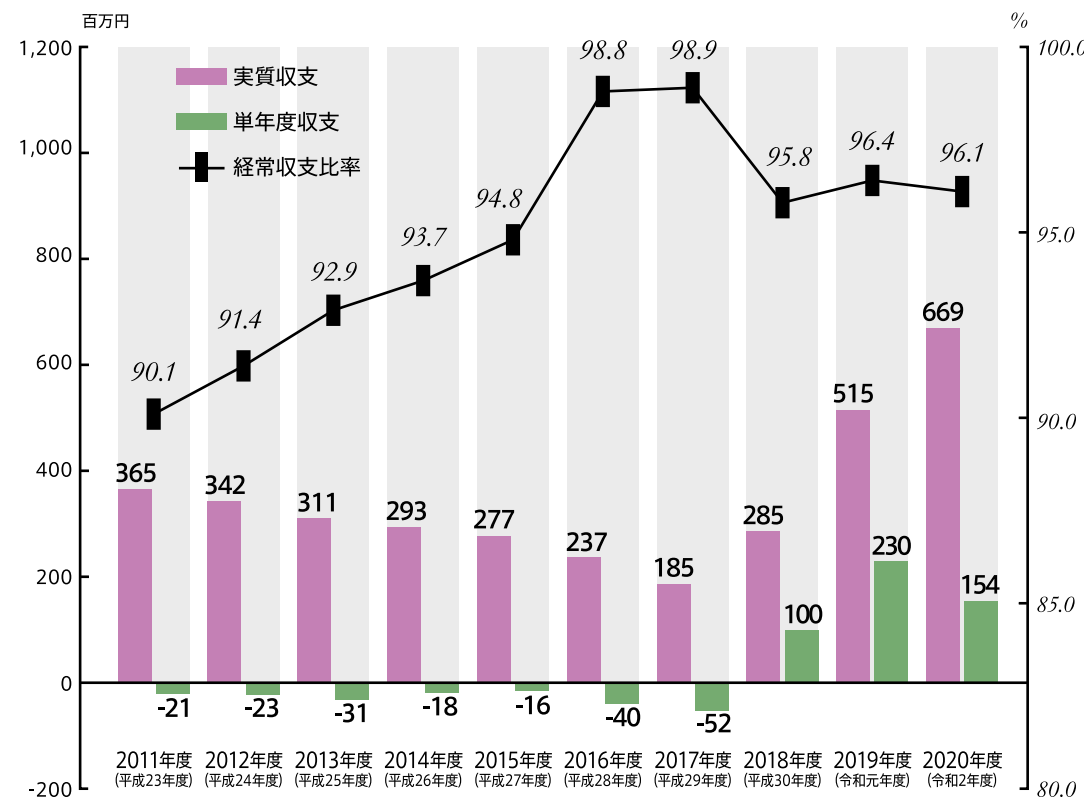
(2) 財政状況

日本経済の状況は、1990年代前半のバブル崩壊後、長い不況後の緩やかな回復状況を経て、一部の企業では業績回復の傾向も見られたものの、大多数を占める中小企業にはその実感はないまま、2008(平成20)年に世界同時不況を受け、製造関連企業を中心に過去にない業績の急激な悪化に直面しました。その後、政府の経済対策や世界経済の回復基調を受け、行き過ぎた円高是正や個人消費の増加、企業収益、雇用情勢の改善などが見られ、経済状況は改善傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な景気の悪化を経験することになりました。

宇治市では、少子高齢化の進行による歳入の減少と社会保障関係経費の増加により、第6次総合計画期間においても、厳しい財政状況が続くと見込まれます。

近年では、市税収入が伸び悩む中で、扶助費(福祉サービス等)等の義務的経費は増加傾向にあり、経常的な収入(市税収入等)に対する経常的な支出(義務的経費)の比率を示す経常収支比率は、2020(令和2)年度の決算において96.1%となっており、財政構造の硬直化が続いています。

宇治市の実質収支・単年度収支・経常収支比率の推移



資料:宇治市資料「宇治市普通会計決算概要」(2020(令和2)年度)

(3) 持続可能な社会の実現に向けた取組

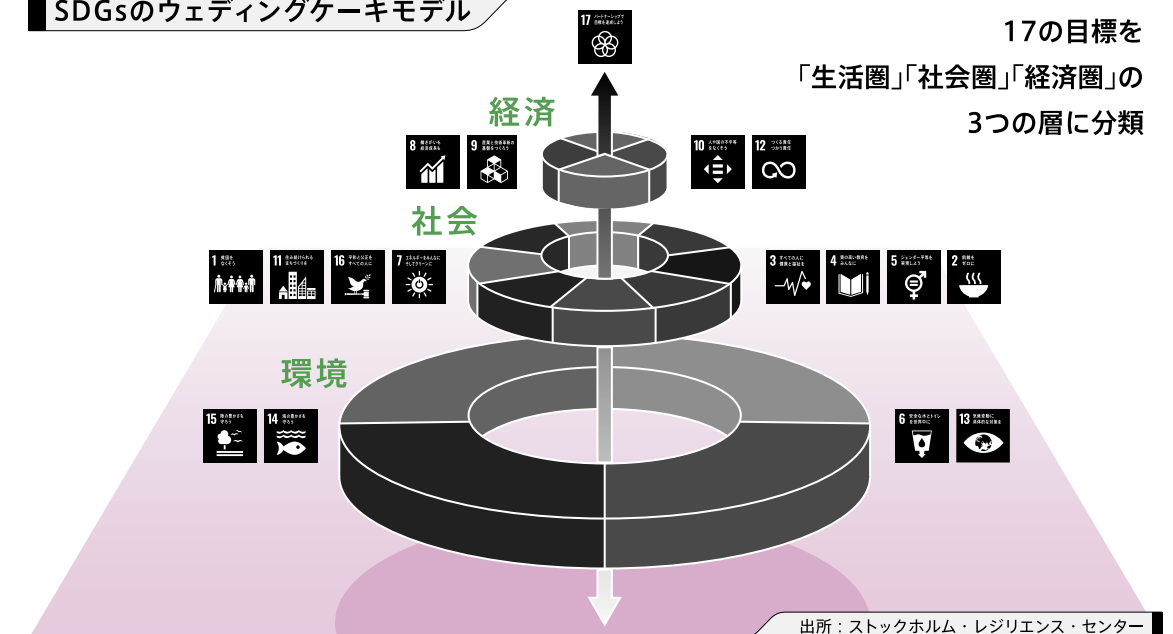
世界的な気候変動への取組として、2015(平成27)年にフランスのパリで第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)が開催され、2020(令和2)年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組みであるパリ協定が採択されました。

我が国でも温室効果ガスの排出量を2050(令和32)年までに実質ゼロにする方針が発表され、地球温暖化対策を新たな経済成長の柱とすることを目標としています。

また、2015(平成27)年にSDGsが国連193の加盟国の全会一致で採択されました。SDGsは、気候変動や格差等の社会が抱える問題に対して、世界全体で解決していくことを目標に、17のゴールと169のターゲット、232の指標で構成されており、持続的な社会を実現するための国際社会共通指標となっています。我が国においてはSDGs推進本部より、2016(平成28)年に実施指針が示されており、地域社会がSDGsの達成に取り組むことで、地域における課題解決及び持続的な発展を実現し、地方創生を推進することが期待されています。

宇治市では、2018(平成30)年に「宇治市地球温暖化対策実行計画(第5期計画)」を策定し、2023(令和5)年までの6年間で温室効果ガス排出量の削減目標及び具体的な取組指針を掲げ推進しています。具体的には、地球温暖化対策やSDGsに関する講座、ごみ処理場を見学するエコツアーの開催を定期的に行っています。

SDGsのウェディングケーキモデル



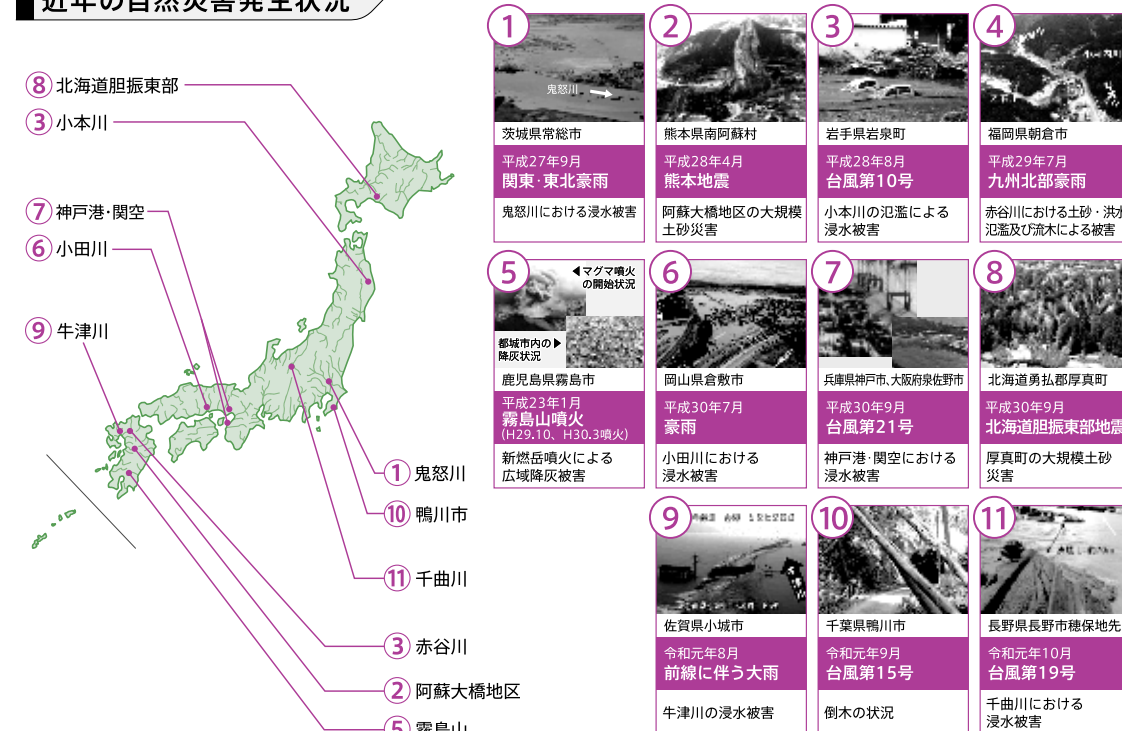
(4) 生活に対する脅威の増加

我が国では、1995(平成7)年の阪神・淡路大震災、2011(平成23)年の東日本大震災などの大規模な地震災害、近年頻発している集中豪雨及び大型台風等の自然災害が日本各地で発生しています。さらに、東日本大震災の被害規模を上回るとされる首都直下地震や南海トラフ地震の発生確率は、30年以内に70%程度と予想されています。気候変動により、風水害もさらに頻発化・激甚化するおそれもあります。

また、生活に対する脅威は自然災害に限らず、現在、世界中で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症は、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。そのため、生活に対するあらゆる脅威を想定し、人命の保護や維持すべき重要な機能が機能不全に陥ることなく、迅速な復旧復興を可能にする地域づくりを平時から進めていく必要があります。

宇治市では、2021(令和3)年に策定した「宇治市地域防災計画」の中で、災害予防から発生時における応急対策、災害後の復旧対策までの一連の流れを整理し、災害発生時の影響の最小限化に取り組んでいます。また、新型コロナウイルス感染症への対応は、ワクチン接種会の実施や専用相談窓口の設置、事業者向けに新型コロナウイルス感染症に関する支援のしおりを作成するなどWITHコロナ時代のまちづくりを推進しています。

近年の自然災害発生状況



出所：国土交通省 防災・減災対策本部（第1回）会議

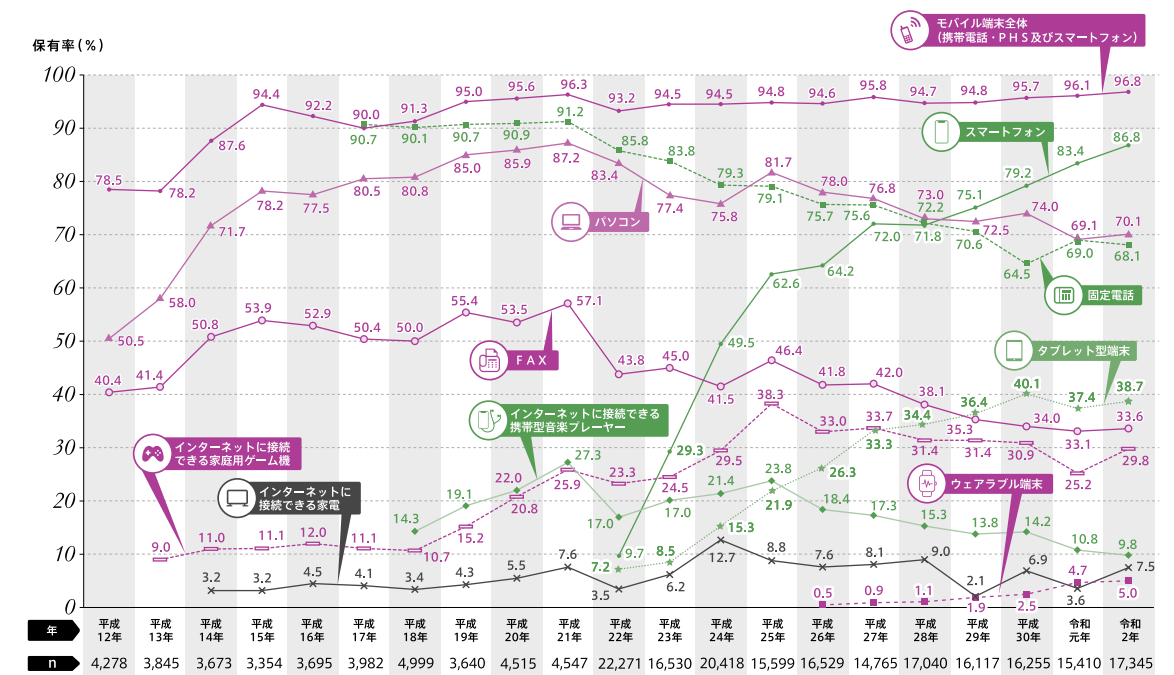
(5) 情報通信技術の飛躍的な進歩

あらゆる産業で情報通信技術(ICT)を活用した効率化が図られており、IoT、ビッグデータ、AI(人工知能)、ロボット技術等は産業構造と社会に激変をもたらしています。新型コロナウイルスへの感染リスクに対応するために広まったテレワーク、ウェブ会議などのデジタル技術は物理的・時間的制約を克服し、多様な働き方や人材不足解消につながっています。

また、AIを活用した業務効率化、自動走行技術による移動等のデジタル技術革新は地域課題の解決や生活利便性の向上に寄与しています。今後もデジタル技術の活用が求められる中で、子どもたちが新しい時代の創り手として必要な資質を育むため、アクティブ・ラーニング、プログラミング教育等を含む新学習指導要領が始まっており、教育におけるICT環境等の整備も進められています。人口減少や高齢化が進む課題先進国である我が国こそ国際社会の先頭に立ち、経済発展と社会的課題の解決をテクノロジーの活用で両立させるSociety5.0の実現が求められています。

宇治市でも、介護現場や教育現場などをはじめとしてあらゆる領域で、人手不足の解消や新型コロナウイルス感染症への対策のため、情報通信技術を活用した取組の充実が求められています。

主な情報通信機器の保有状況の推移



(複数回答)

※「モバイル端末全体」には、平成21年以降は携帯情報端末(PDA)、平成22年以降はスマートフォンも含む ※無回答を含む

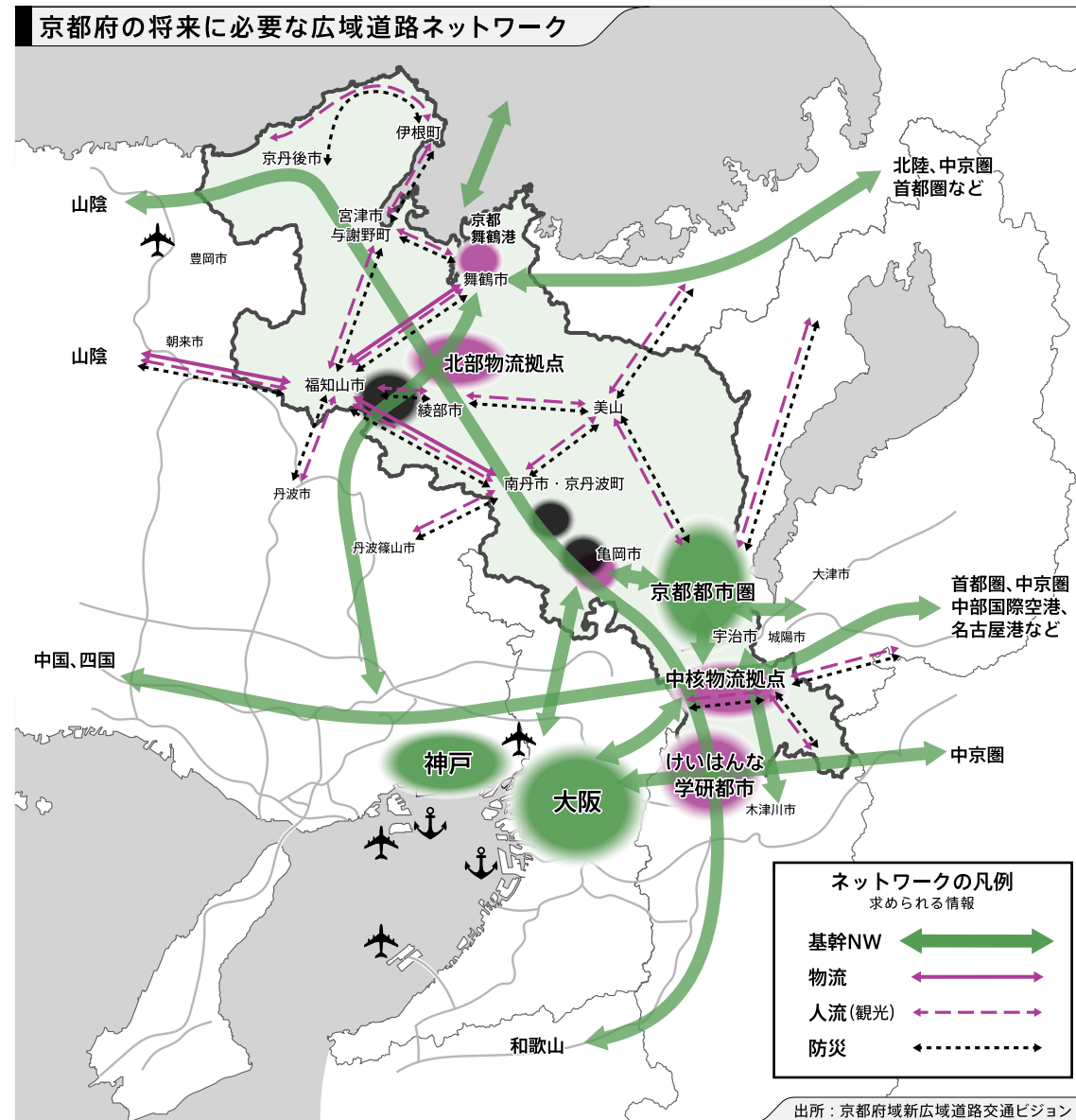
出所：令和2年通信利用動向調査報告書(世帯編)

(6) 広域交通ネットワークを活かした新たな価値の創出

リニア中央新幹線の開業により三大都市圏が約1時間で結ばれることで、観光・産業・地域づくり・ライフスタイルなど幅広い分野における新たな価値の創出が期待されています。

京都・奈良・大阪の間、近畿地方の中央部に位置し、交通の便を活かし古くから発展してきた歴史的地域である山城地域では、新名神高速道路の全線開通が、2024(令和6)年度を目標に整備が進められています。また、京都府では、2021(令和3)年に策定した「京都府域新広域道路交通ビジョン」の中で、交通の広域化を図り、物流の活発化や観光などの交流人口の増加が見込める一方で、交通量の増加による渋滞発生などの問題も認識されています。

これらを見据えて、それぞれのエリアの特性を活かしたまちづくりの推進が求められています。



(7) 産業構造の変化と地域産業の振興

地域産業を取り巻く環境は、情報通信技術の進展や市民の価値観やライフスタイルの多様化など変化しています。また、経営者の高齢化や後継者不足など、地域の産業及び企業における労働生産性向上を図る競争力強化の取組が重要となっています。そのため、地域の特性や資源を活かした地域産業の振興が求められています。

宇治市の産業の特徴

人口

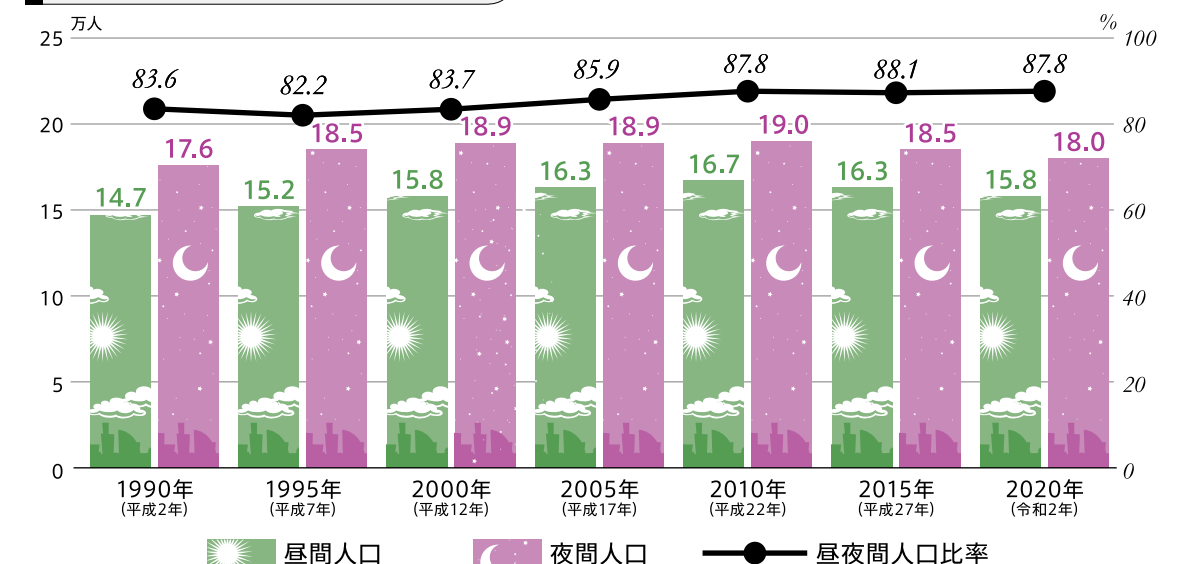
宇治市の産業の特徴を人口の面から見ると、昼夜間人口では、1995(平成7)年以降、昼夜間人口比率は緩やかに上昇傾向で推移していますが、2010(平成22)年から2020(令和2)年にかけて、昼間人口、夜間人口ともに減少に転じています。

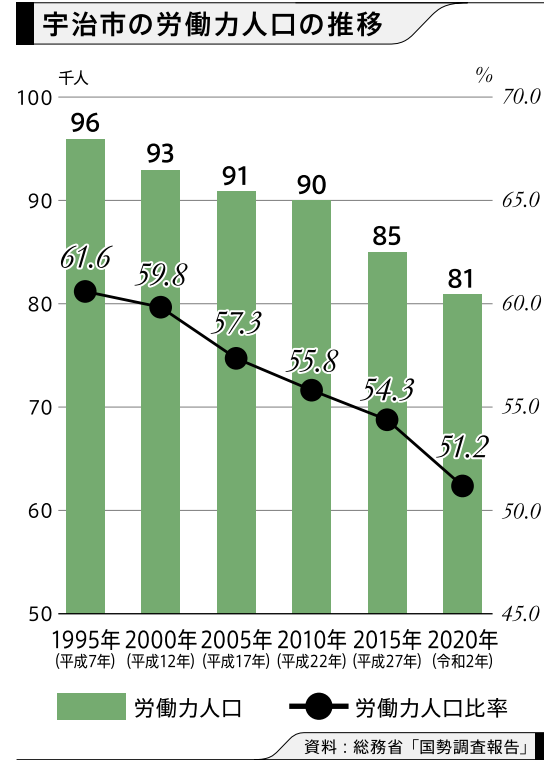
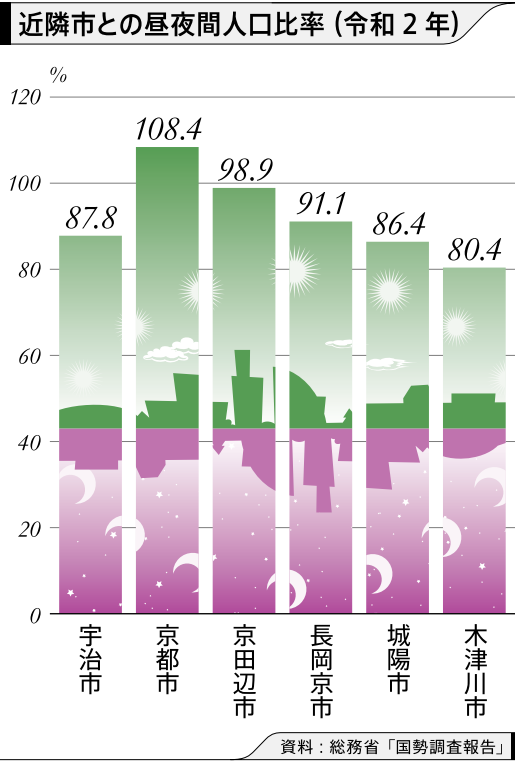
近隣市と昼夜間人口比率を比較すると、宇治市は京都市、京田辺市、長岡京市より低く、城陽市、木津川市より高くなっており、ベッドタウンとしての側面と働く場としての側面をあわせ持つ都市であるといえます。

また、15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者をあわせた人口である労働力人口については、減少傾向にあります。

15歳以上人口に占める労働力人口の割合である労働力人口比率についても、同じく減少傾向にあり、宇治市において働く場を創出する必要があります。

宇治市における昼夜間人口の推移

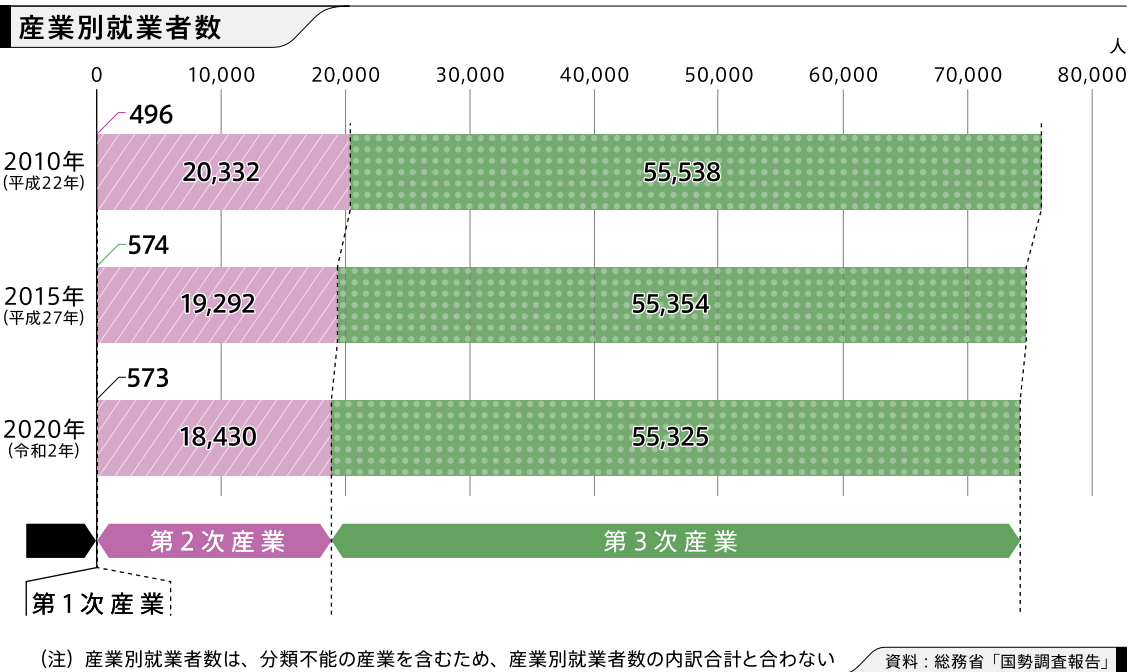




宇治市の産業の特徴

産業就業者数

2020（令和2）年の国勢調査による産業別就業者数は、77,084人で、2015（平成27）年の国勢調査に比べると4,680人の減少となっています。産業別で見ると第2次産業で減少が見られます。

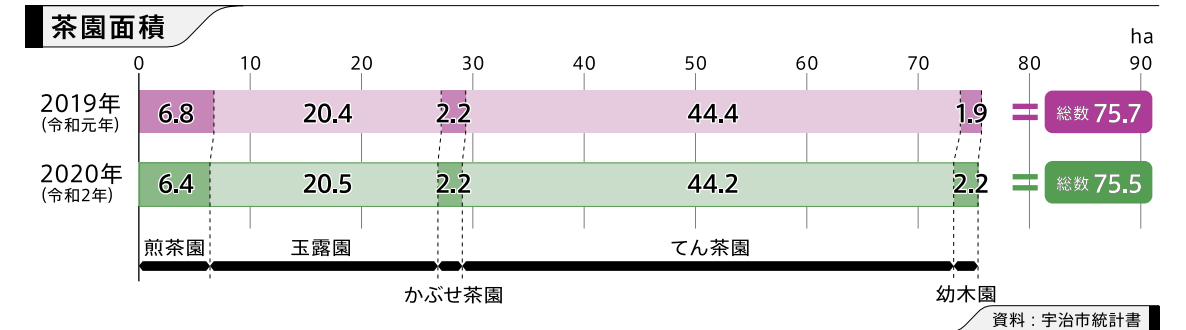
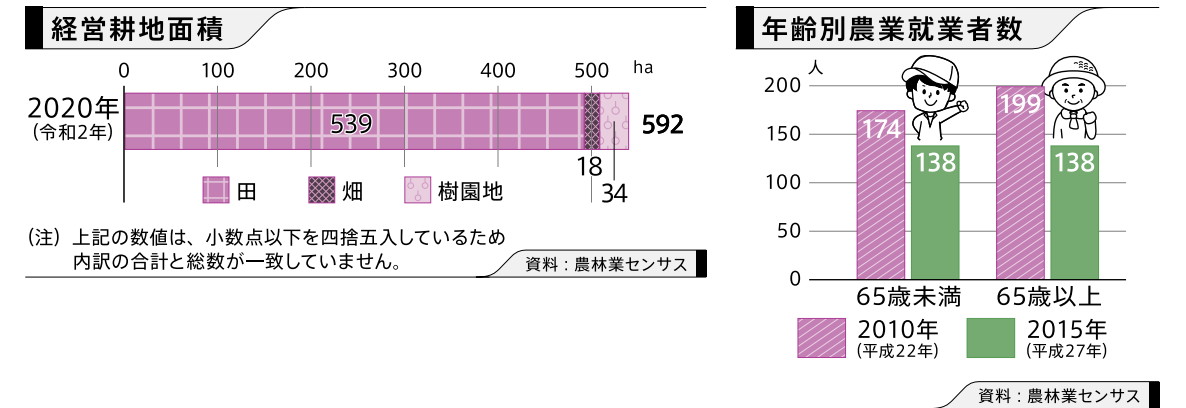


宇治市の産業の特徴

農業

宇治市の農業は、稲作を中心に、伝統的作物である茶の生産及び大都市近郊という条件を活かした都市近郊型農業が行われています。

2020（令和2）年の農林業センサスによると、経営耕地面積は592haで、その内訳は、田は539ha、畑は18ha、樹園地は34haとなっており、田が多くを占めています。



宇治市の産業の特徴

商業

2016（平成28）年の経済センサス活動調査によると、前回の2012（平成24）年の経済センサス基礎調査に比べて事業所数は13.7%、従業者数は9.7%それぞれ減少となっています。

商業の推移	2012年 （平成24年）	2016年 （平成28年）	増減
	1,312	1,132	
事業所数	1,312	1,132	-13.7%
従業者数（人）	11,424	10,314	-9.7%
年間商品販売額（百万円）	169,666	206,319	—

資料：経済センサス

宇治市の産業の特徴

工業

2019(令和元)年の従業者4人以上の事業所にかかる工業統計調査によると、宇治市内で製造業を営む事業所数は301で、2014(平成26)年と比べると4.5%の増加、従業者数は10,177人で3.1%の増加、製造品出荷額等は7,105億7,471万円で43.3%の増加となっています。

従業者数規模別に見ると、事業所数では従業者数29人以下の事業所が全体の79.1%を占める一方、製造品出荷額等では7.3%です。一方で、50人以上99人以下の規模の事業所は、事業所数では7.0%、製造品出荷額等では68.9%を占めています。

地域別では槇島地域に事業所数の59.5%、製造品出荷額等の79.1%が集中しています。

従業者規模別事業所数・従業者数・製造品出荷額等

「X」...統計法に基づく秘匿数字

従業者数 (人)	事業所数					従業者数(人)					製造品出荷額等(万円)				
	2014年 (平成26年)		2019年 (令和元年)		増加率	2014年 (平成26年)		2019年 (令和元年)		増加率	2014年 (平成26年)		2019年 (令和元年)		増加率
	実数	構成比	実数	構成比		実数	構成比	実数	構成比		実数	構成比	実数	構成比	
総数	288	100.0%	301	100.0%	4.5%▲	9,873	100.0%	10,177	100.0%	3.1%▲	49,591,983	100.0%	71,057,471	100.0%	43.3%▲
4～9	121	42.0%	114	37.9%	△5.8%▼	769	7.8%	737	7.2%	△4.2%▼	1,235,873	2.5%	973,427	1.4%	△21.2%▼
10～19	69	24.0%	84	27.9%	21.7%▲	955	9.7%	1,174	11.5%	22.9%▲	1,588,671	3.2%	2,205,206	3.1%	38.8%▲
20～29	38	13.2%	40	13.3%	5.3%▲	924	9.4%	1,008	9.9%	9.1%▲	1,507,321	3.0%	2,022,729	2.8%	34.2%▲
30～49	25	8.7%	27	9.0%	8.0%▲	963	9.8%	1,062	10.4%	10.3%▲	1,810,559	3.7%	2,124,369	3.0%	17.3%▲
50～99	19	6.6%	21	7.0%	10.5%▲	1,352	13.7%	1,428	14.0%	5.6%▲	2,799,700	5.6%	48,981,814	68.9%	1649.5%▲
100～199	10	3.5%	8	2.7%	△20.0%▼	1,458	14.8%	1,051	10.3%	△27.9%▼	3,271,266	6.6%	1,770,675	2.5%	△45.9%▼
200以上	6	2.1%	7	2.3%	16.7%▲	3,452	35.0%	3,717	36.5%	7.7%▲	37,378,593	75.4%	X	X%	X%

資料：工業統計調査

地域別事業所数・従業者数・製造品出荷額等

※従業者4人以上の事業所

地域	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(万円)		
	令和元年			令和元年			令和元年		
	実数	構成比 (%)	対前回 増加率(%)	実数	構成比 (%)	対前回 増加率(%)	実数	構成比 (%)	対前回 増加率(%)
総数	301	100.0	1.3▲	10,177	100.0	1.8▲	71,057,471	100.0	7.6▲
六地藏・木幡・平尾台・五ヶ庄	16	5.3	0.0→	1,177	11.6	△0.7▼	3,195,944	4.5	7.9▲
菟道・羽戸山・志津川・明星町	9	3.0	12.5▲	234	2.3	11.4▲	198,492	0.3	64.9▲
炭山・二尾・池尾・東笠取・西笠取	9	3.0	12.5▲	100	1.0	14.9▲	158,385	0.2	36.3▲
宇治・琵琶台・折居台・天神台・白川	23	7.6	△11.5▼	1,214	11.9	7.8▲	5,040,752	7.1	5.2▲
神明・羽拍子町・開町	6	2.0	0.0→	41	0.4	△4.7▼	34,901	0.0	0.3▲
槇島町	179	59.5	2.3▲	5,052	49.6	0.6▲	56,192,294	79.1	8.5▲
小倉町	12	4.0	△7.7▼	333	3.3	△20.0▼	938,114	1.3	△12.0▼
伊勢田町・安田町	20	6.6	0.0→	576	5.7	2.3▲	1,056,846	1.5	△3.5▼
広野町・寺山台・大久保町	27	9.0	8.0▲	1,450	14.2	7.8▲	4,241,743	6.0	5.0▲

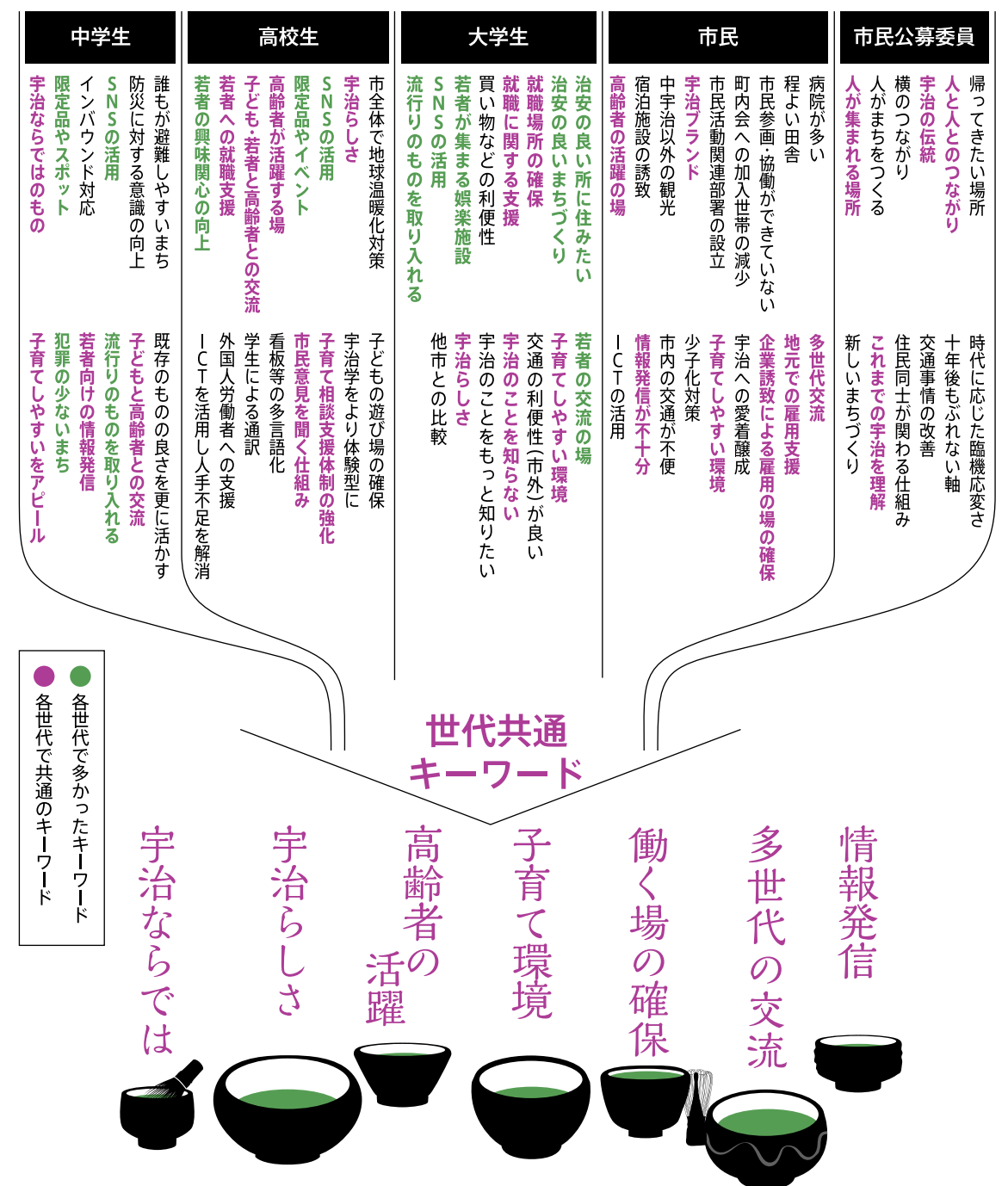
資料：工業統計調査

3. 市民のニーズ

(1) まちづくりの方向性に関する市民意見

市民のニーズを把握するため、市民意識調査や市民会議(市民ワークショップ)に加え、中学生・高校生・大学生から授業・講義を通して、宇治市というまちを知ってもらうとともに、まちづくりに対する意見や提案がありました。

その結果から、世代共通のキーワードとして、「宇治ならではの」「宇治らしさ」「多世代の交流」「子育て環境」「高齢者の活躍」「働く場の確保」「情報発信」の7つがあがりました。

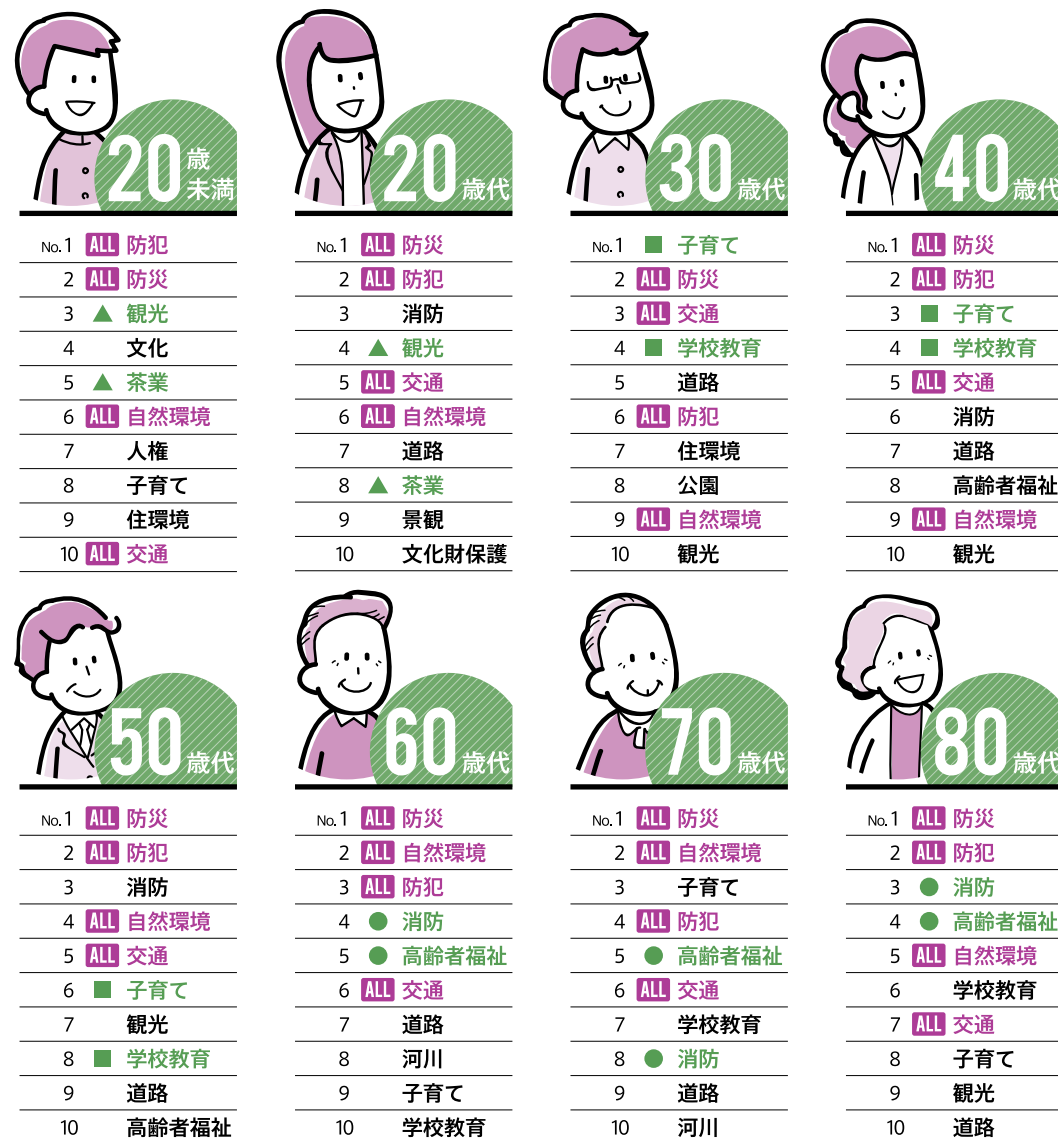


(2) まちづくりの方向性・重点施策に関する市民意見

① 宇治市が暮らしやすいまちになるために重要な取組

市民意識調査結果では、すべての年代で「防災」「防犯」という安全・安心に関する取組が望まれています。また、鉄道駅が近いなど利便性が高い地域がある一方で、移動手段が限定されている地域もあるため「交通」という移動手段に関する取組も望まれています。

また、若年層は、「観光」「茶業」という経済や産業に関する取組によりまちの活性化を、高齢層は、「高齢者福祉」「消防」という日常生活を安心して過ごすことができる取組を望んでいます。



ALL 全年代共通の項目 年代別で比較的上位にある項目 (▲ 若年層 / ■ 中年層 / ● 高齢層)

② 宇治市が「子育てしやすいまち」「子どもが健やかに育つまち」になるために必要な取組

市民意識調査結果では、宇治市が「子育てしやすいまち」「子どもが健やかに育つまち」になるために必要な取組として、保育園・幼稚園の充実や個に応じた教育環境の整備など、教育環境の充実が望まれています。また、子どもが安心して遊べる場所など子育て支援に関する取組や防犯・安全対策などまちづくりに関する取組も望まれています。



③ 宇治市が「若者が活躍できるまち」になるために必要な取組

市民意識調査結果では、宇治市が「若者が活躍できるまち」になるために必要な取組は、企業の本社誘致やIT企業の誘致など雇用の確保、若者が参加できる行事やイベント、市民の居場所づくりや交流できる場所、機会づくり、空き家の有効活用、宇治市で新しいことをすることに対する支援などが望まれています。

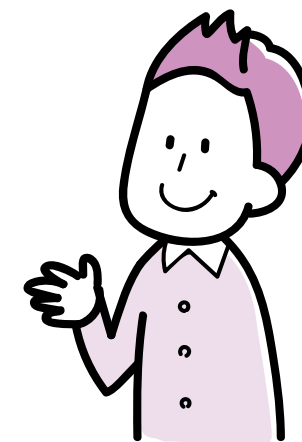


(3) まちづくりの具体的な取組に対する市民意見

「宇治市のまちづくりに必要な取組は何か」をテーマに開催した市民会議(市民ワークショップ)ではたくさんの意見や提案がありました。主な内容は次のとおりです。

① 安全・安心に関する意見・提案

- 河川治水、洪水対策や避難場所の確保などの防災対策
- 狭い道路の拡幅や公共交通の充実
- 空き家対策
- 不法投棄やごみ分別の徹底



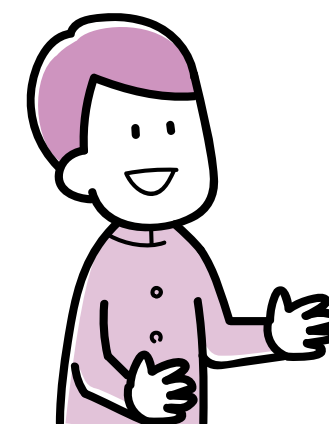
② 子育て・子育てに関する意見・提案

- 公園など遊び場、学習の場の確保
- 対面学習活動やコミュニケーションの復活など、教育環境の充実
- 子ども、若者など将来を担う市民への支援
- 不登校や引きこもりへの対応、孤立化の防止など



③ 誰もがいきいきに関する意見・提案

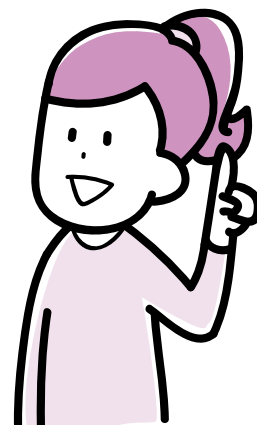
- 地域や世代間の交流、地域活動への参加など
- 高齢者、障害者福祉サービスの充実など
- 地域コミュニティの再構築やコミュニティに対する支援
- 公共施設などの有効活用
- 文化芸術活動、スポーツ施設の充実など
- LGBTQ や外国人に対する理解



序論 基本構想 第1期中期計画 参考資料

④ 地域経済に関する意見・提案

- 企業誘致や雇用促進、ベンチャー支援
- 道路、駐車場の整備、鉄道駅のバリアフリー化など交通環境の改善・充実
- 農林業の振興やお茶など伝統産業の育成
- 良好な住宅地の形成



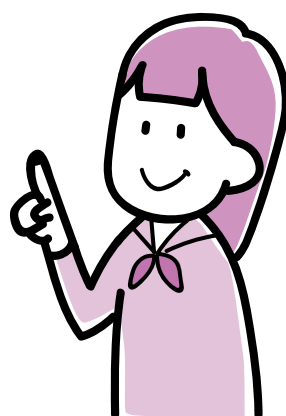
⑤ 伝統・歴史に関する意見・提案

- お茶や市の歴史を理解できる体験学習の実施
- 平等院、古墳、宇治川、塔の島など地域資源の魅力向上や新たな資源の発掘
- 観光地や伝統行事の情報発信・PR
- 観光地における駐車場の整備



⑥ 土台となる取組に関する意見・提案

- 計画の進捗状況の把握及び評価、見直しなど
- 公共施設の維持管理・利用方法の見直し、行政サービスの優先度の整理など財政や公的資産の効率化、見直し
- IT化の推進や Free Wi-Fi など情報環境の充実と新たな広報手段による魅力発信、PR
- 宇治市に住み続けたいと思えるような定住対策



第1章	基本構想の考え方	30
1.	目指す都市像	30
2.	目標年次・計画期間	32
3.	人口ビジョン	32
4.	将来都市構造	32
第2章	まちづくりの方向	34
第3章	まちづくりの土台	39